

2022年10月 月例市長記者会見

日時：2022(令和4)年10月24日(月)午前11時
場所：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 項 目

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社
・毎日新聞 ・NHK

4 閉 会

【項目一覧】

- (1) 令和4年度 郡山市文化功労賞・郡山市教育委員会表彰 表彰式 資料1
- (2) タブレットを活用した行政センターDXの推進 資料2
- (3) 本市職員の新型コロナウイルス感染の傾向 資料3
- (4) 産総研(FREA)地中熱システムの実証試験結果 資料4
- (5) 逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会を設立 資料5

【配布資料1】新型コロナウイルスワクチン接種

【配布資料2】2022 上半期歳出予算執行及び建設工事契約状況

【配布資料3】建築確認申請件数

【配布資料4】エコドライブ・安全運転コンテスト

令和4年度郡山市文化功労賞・郡山市教育委員会表彰 表彰式

1 表彰式

- (1) 名称 令和4年度 郡山市文化功労賞・教育委員会表彰 表彰式
(2) 日時 令和4年11月2日(水) 午前10時
(3) 会場 郡山市役所 正庁

2 受賞者 (別紙名簿のとおり)

- | | | | |
|------------------|-----------|--------------------|----------------|
| (1) <u>文化功労賞</u> | <u>3名</u> | (2) <u>教育委員会表彰</u> | <u>18名・3団体</u> |
| ① 文化芸術の振興発展に寄与 | 1名 | 【教育功労者】 | |
| ② 体育の振興発展に寄与 | 2名 | ① 学校教育の振興発展に寄与 | 11名 |
| | | ② 社会教育の振興発展に寄与 | 3名 |
| | | ③ 体育の振興発展に寄与 | 4名 |
| | | 【教育関係優良団体】 | |
| | | ① 社会教育の振興発展に寄与 | 3団体 |

3 その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の対策を講じて執り行います。

- ・出席者のマスク着用、受付時に検温、手指消毒を実施
- ・表彰者の配偶者や来賓等の出席者を減らし、ソーシャル・ディスタンスを確保するとともに、換気等に努める。
- ・開催時間の短縮(「国歌」、「こおりやま市民の歌」は演奏のみとする。)

郡山市文化功労賞受賞者

(敬称略・順不同)

〔手芸の活動を通じ、文化芸術の振興発展に寄与〕

菅野 和子 郡山市菜根三丁目
(かんの かずこ)

多年にわたり郡山市民文化祭参加行事として、編物と手芸の普及展を開催し、編物と手芸の分野で文化芸術の普及発展と団体育成に努めるとともに、郡山市文化団体連絡協議会の副会長を10年以上務めるなど、本市の文化芸術の振興発展に尽くされた功績

〔剣道の活動を通じ、体育の振興発展に寄与〕

角田 幸一 郡山市大平町
(つのだ こういち)

多年にわたり少年剣道の指導活動と団体育成に尽力され、郡山警察署の剣道講師や郡山東高等学校の剣道部コーチを務めるとともに、福島県剣道連盟の郡山支部理事から支部長を歴任するなど、本市の体育の振興発展に尽くされた功績

〔スポーツ少年団の活動を通じ、体育の振興発展に寄与〕

渡邊 征子 郡山市三穂田町
(わたなべ せいこ)

多年にわたり郡山市スポーツ少年団の運営に尽力し、指導者の育成、青少年の健全育成に努めるとともに、郡山市スポーツ少年団の理事長や福島県スポーツ振興審議委員を務めるなど、本市の体育の振興発展に尽くされた功績

郡山市教育委員会表彰受賞者

(教育功労者)

(敬称略・順不同)

〔学校教育〕

渡邊 勲 須賀川市和田
(わたなべ いさお)

小学校長を退職するまでの長きにわたり、児童一人一人と向き合いきめ細かな学習指導を行うとともに、各学校の実態に応じた施設設備の充実に努めることで豊かな学びの場を保障するなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

立石 ひとみ 郡山市神明町
(たていし ひとみ)

小学校長を退職するまでの長きにわたり、児童の体力向上に励み学校体育施設の整備や地域のスポーツ実践に努め、東日本大震災時には教職員と協力し、児童の安全を守る学校運営を行うなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

小林 伸行 郡山市菜根三丁目
(こばやし のぶゆき)

小学校長を退職するまでの長きにわたり、豊かな心と実践力のある児童の育成を目指し、教職員の指導力向上に尽力するとともに、指導の系統性を重視した取り組みを継続することで、校内研修の活性化と授業の質的改善に成果を上げるなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

三輪 晶子 郡山市咲田一丁目
(みわ あきこ)

中学校長を退職するまでの長きにわたり、生徒に寄り添ったきめ細かい指導を実践し、集団で学ぶことの楽しさや国語学習への興味を持たせる授業実践を行うとともに、初任者研修コーディネーターとして次世代を担う教員育成に努めるなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

平 栗 光 弘
(ひらぐり みつひろ)

郡山市田村町

多年にわたりエムポリアムこども園の園長として、自主性や基本的な生活習慣を身につけるために幼児の特性を尊重した保育を行うとともに、公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会の理事を務めるなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

齋 藤 美 保 子
(さいとう みほこ)

郡山市台新一丁目

多年にわたり郡山女子大学短期大学部において美学・美術史の教鞭を執るとともに、芸術鑑賞講座の開催、生活文化博物館の整備による教養教育や、地域と連携した教育を実践し、地域に貢献できる教養豊かな人材の育成に努めるなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

齋 藤 淳
(さいとう あつし)

郡山市緑町

多年にわたり小学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

高 橋 充 彦
(たかはし みちひこ)

郡山市鳴神三丁目

多年にわたり中学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

佐 藤 實 則
(さとう みのり)

郡山市開成五丁目

多年にわたり中学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

務 川 靖
(むかわ やすし)

郡山市八山田五丁目

多年にわたり小学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

森 田 欣 吾
(もりた きんご)

郡山市清水台一丁目

多年にわたり小学校の学校歯科医として、生徒の虫歯予防や口腔衛生、予防治療等に関する歯科保健指導を行うとともに、歯科衛生思想の啓発を通して地域歯科保健の推進に努めるなど、学校歯科保健の向上に尽くされた功績

〔社会教育〕

米 本 征 治
(よねもと せいじ)

郡山市田村町

多年にわたり郡山市田村町観光協会会長や田村町自治会長を務め、田村町内のまとも役として貢献するとともに、田村町郷土史研究会会長を10年間務め、会員の郷土の歴史の解明に貢献し、歴史文化活動の向上に尽力するなど、文化の振興発展に尽くされた功績

瀧 田 勉
(たきた つとむ)

郡山市安積町

多年にわたり学校教育の発展とPTA活動の推進に貢献し、子どもたちを中心として、保護者・学校・地域が連携し、温かく見守る仕組みづくりに注力するとともに、郡山市PTA連合会長・顧問を務めるなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

宗 形 義 基
(むなかた よしもと)

郡山市土瓜一丁目

多年にわたり郡山市青少年育成指導員として青少年の健全育成、非行防止に尽力するとともに、青少年健全育成小山田地区協議会長・顧問として自然体験・社会活動を通し、子どもたちの自立と思いやりの心の醸成を目的とした活動を実践するなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

〔体 育〕

大 木 重 雄
(おおき しげお)

郡山市富田東一丁目

多年にわたり行健サッカースポーツ少年団の指導者として子どもたちのサッカー技術の向上に尽力するとともに、郡山サッカー協会・県南サッカー協会の会長や郡山市体育協会の副会長を務め、地域スポーツ文化の向上や競技力の向上に努めるなど、体育の振興発展に尽くされた功績

石 井 利 一
(いしい としいち)

郡山市横塚一丁目

多年にわたり、居合道の稽古で技術を深め、青少年の指導・育成にも尽力するとともに、県南居合道会の理事長・副会長・会長及び、福島県剣道連盟幹事・郡山支部常任理事を務めるなど、体育の振興発展に尽くされた功績

吉 成 賢
(よしなり ただよし)

郡山市富久山町

多年にわたり小学校の教員として勤務するとともに、市内の小、中、高校生の体力向上や中高齢者スポーツ教室事業に尽力し、郡山市小中学校体育連盟会長や郡山陸上スポーツ少年団の代表、郡山市スポーツ少年団の常任理事を務めるなど、体育の振興発展に尽くされた功績

和 田 広
(わだ ひろし)

須賀川市木之崎

多年にわたり、帝京安積高等学校女子ソフトボール部や福島県少年女子選抜チームの監督として指導育成するとともに、郡山ソフトボール協会の役員を務めソフトボールの普及活動に尽力するなど、体育の振興発展に尽くされた功績

(教育関係優良団体)

(敬称略)

郡山市民歌謡協会 (会長 宮田 定吉)

(こおりやましみんかようきょうかい かいちょう みやた さだきち)

昭和62年に「郡山市民カラオケ協会」として発足して以来、技術の向上や豊かな教養を養う活動を続け、郡山市民文化祭行事で紅白歌合戦を主催し、歌謡音楽活動を通して本市の大衆文化の発展に貢献するなど、文化の振興発展に尽くされた功績

郡山市青少年健全育成橋地区協議会 (会長 町田 敦)

(こおりやましせいしょうねんけんぜんいくせいたちばなちくきょうぎかい かいちょう まちだ あつし)

平成6年の結成以来、心豊かな子どもの育成と子どもたちの安全確保を目指した活動を行い、地域の特性を踏まえた親子で楽しめる事業に力を入れるとともに、交通量の多い通学路での児童の見守り活動を毎日実施するなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

柳橋歌舞伎保存会研究部 (会長 宗像 大吉)

(やなぎはしかぶきぼんかいけんきゅうぶ かいちょう むなかた だいきち)

平成6年より郡山市指定重要無形文化財の「柳橋歌舞伎」の後継者育成を担うため、小、中高校生への演技指導を行い、学校文化祭での上演や文化交流活動への参加を通して、地域の伝統文化の継承や郷土愛の育成など社会教育の振興発展に尽くされた功績

○行政センター・連絡所、本庁各所属にタブレットを配置し、行政センターDXを推進します。

★窓口DX：行政センター窓口と本庁窓口をビジュアルでつなぎ、丁寧な対応を図ります。

⇒ 市民の皆様から寄せられるご相談に対し、行政センターのワンストップサービス機能を強化し、最寄りの行政センターで完結することを目指します。

★現場DX：行政センター職員と本庁職員がリアルタイムに連携し、迅速な対応を図ります。

⇒ 市民の皆様からご提供された情報に対し、地域に密着した行政センターの特徴を生かし、本庁職員と連携し、迅速に対応することを目指します。

1 これまでの取り組み

2022(令和4)年6月、富田行政センター及び本庁3所属でスモールスタート。

(収納課、国民健康保険課、国保税収納課)

行政センターと本庁をタブレットでつなぎ納税相談等に対応。

2 本格運用開始日

2022(令和4)年11月1日(火)

※県内中核市初

3 配置所属等

(1) 行政センター14か所(各2台)・連絡所4か所(各1台)

(2) 本庁 市民課、資産税課、収納課、国民健康保険課など28所属(各1台)

計60台

4 活用具体例

(1) 窓口DX： 窓口を訪れた市民の方と本庁の職員が、お互いの顔を見ながら通話・相談。

(2) 現場DX： 道路の損傷など、市民の皆様から寄せられた情報に、行政センター職員が直接現場を確認。現場状況を本庁の職員とリアルタイムで共有し、迅速に対応。



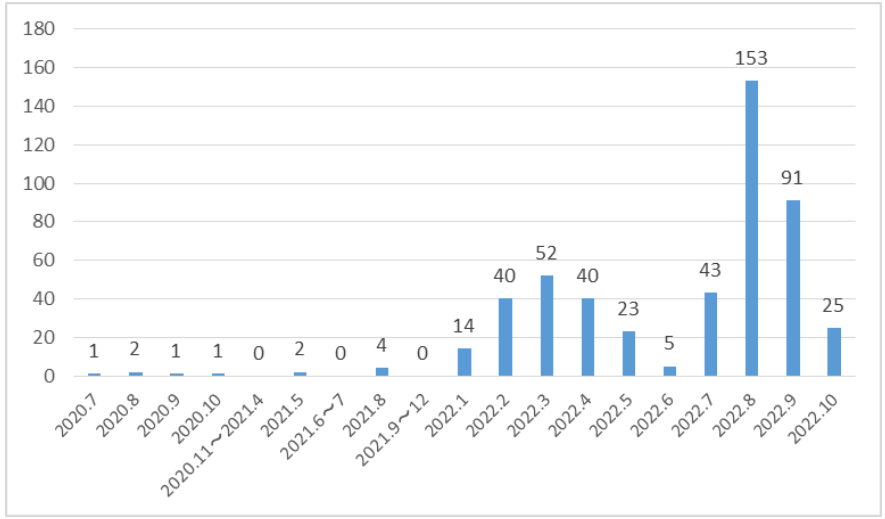
本市職員の新型コロナウイルス感染の傾向(2022.10.20現在)



2022年10月 月例市長記者会見
資料3-1 総務部職員厚生課

2022年10月20日現在の本市職員(正職員及び会計年度任用職員等)の新型コロナウイルスの感染傾向は以下のとおりです。

◆感染者数 497名 (2022.10.20 現在)

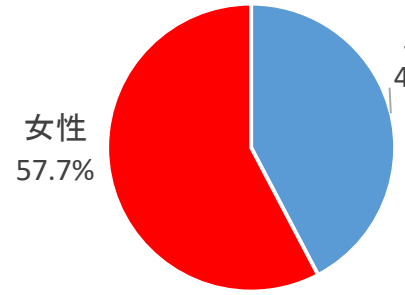


◆職員区分別感染率

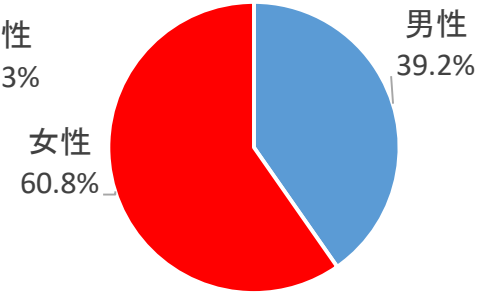
区分	人数 (2022/10/1)	感染者数 (2022/10/20)	感染率	ワクチン接種率 (感染時)
正職員(再任用含)	2,112 人	288 人	13.64%	94.4%
会計年度任用職員	1,625 人	209 人	12.86%	91.9%
合計	3,737 人	497 人	13.30%	93.4%

◆男女比

【職員全体】

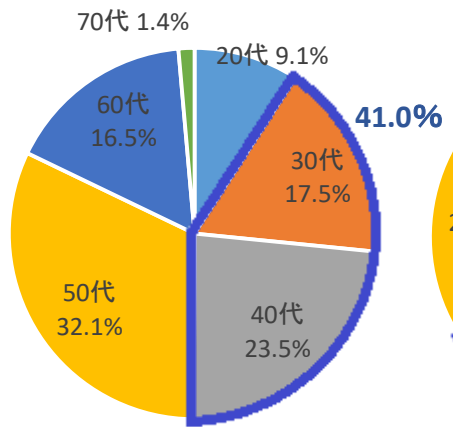


【感染者】

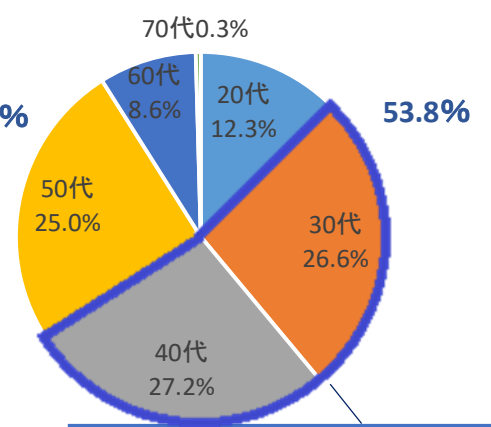


◆年齢構成

【職員全体】



【感染者】

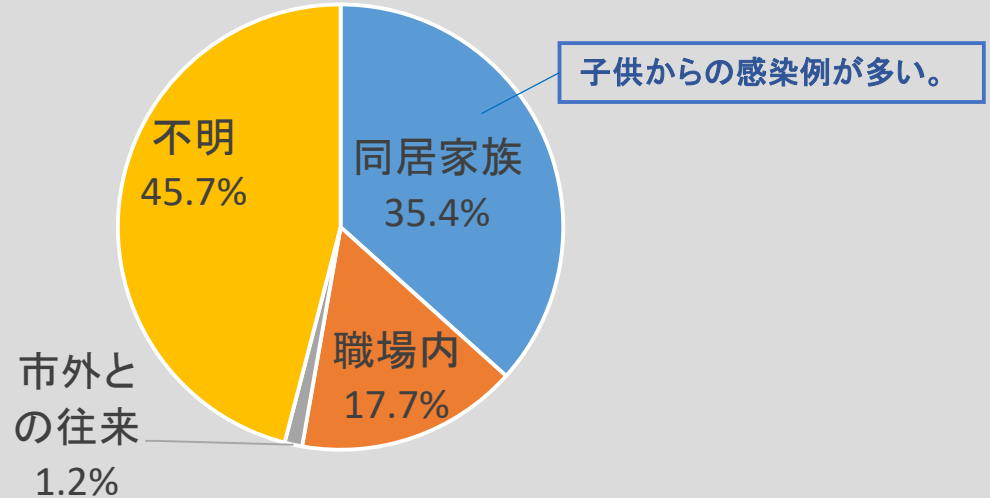


子育て世代の感染割合が高い。

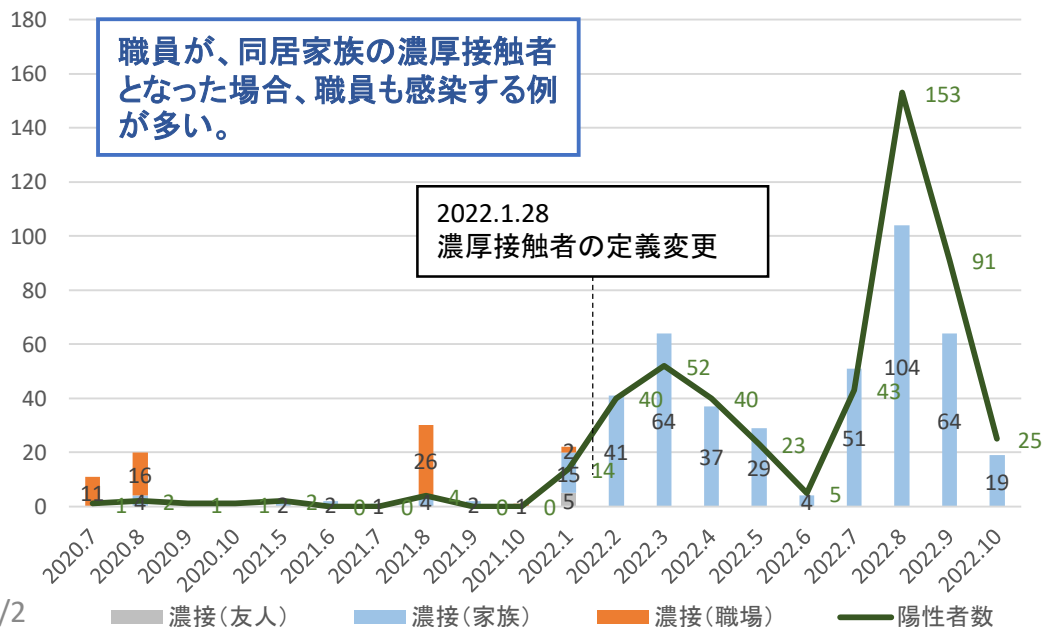
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

◆感染経路(推定)

区分	人数	割合
同居家族	176	35.4%
職場内	88	17.7%
市外との往来	6	1.2%
不明	227	45.7%
合計	497	100%



◆濃厚接触者及び陽性者推移



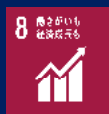
◆感染傾向を踏まえた今後の対策案

本市施設においては、第7波以降は大規模クラスターが発生していないことから、職場内における基本的感染対策は概ね継続されているものと思われる。

一方、主に子供が感染元となっている同居家族からの感染者は、職場内感染者数の約2倍以上であり、家庭内における感染対策が、全体の感染者数を抑制する有効な対策である。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行も懸念される冬季を迎えることから、新型コロナワクチン4回目接種の早期実施の推奨や、職場では実施されている常時換気やマスク着用などの基本的感染対策が、会計年度任用職員を含めた全職員の家庭内においても確実に実行されるよう周知徹底をはかっていく。

産総研(FREA)地中熱ヒートポンプシステムの実証試験結果



2022年10月 月例市長記者会見
資料4 産業観光部産業創出課

概要

(1) 連携事業名

地中熱ヒートポンプシステムの実証試験

(2) 実施期間

2019（平成31）年2月～

(3) 実施場所

喜久田公民館（郡山市喜久田町堀之内下河原1）

(4) 実施者

産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所

(5) 実証内容及び試験結果

○ケーブル方式による熱応答試験を実施

（約3年間にわたるデータ収集・分析）

⇒他地域のシステムと比較して非常に高効率であることを実証

（地下水が活発に流れていることが要因との分析）

(6) 今後について

○現在、太陽光パネルの発電量と地中熱ヒートポンプシステムの消費電力のデータを収集

⇒太陽光発電と地中熱をより効率的に組合せた空調システムを検証

太陽光発電+地中熱システムのコラボレーション

喜久田公民館付近の水文地質的特徴

地下水が流れていない 喜久田公民館で実施したケーブル方式熱応答試験の結果
(産総研シーズ事業で開発)

深度別に推定した見かけ熱伝導率
地層柱状図 見かけ熱伝導率 [W/m K]

深度50mまでの平均見かけ熱伝導率 1.88 W/m K

見かけ熱伝導率の高い区間

見かけ熱伝導率の低い区間

見かけ熱伝導率の高い区間

見かけ熱伝導率の低い区間

地下水が活発に流れている ※喜久田公民館

地下水の流れ

冷房による排熱が熱交換器周りに蓄積（熱交換効率が低下）

熱が地下水で移動するため、熱交換器周りに熱が溜まらない

ケーブル方式熱応答試験の様子

● H31年2月に喜久田公民館でケーブル方式熱応答試験を実施（H30年度産総研シーズ事業）

▶ 深度50mまでの平均見かけ熱伝導率1.88W/mK

※全国平均（1.2～1.4程度）よりも高い

▶ 深度別の見かけ熱伝導率を見ると（左図）、礫（れき）層の区間で高い傾向にある

※礫層で地下水が活発に流れている可能性大

喜久田公民館の地中熱利用システムの特徴 **非常に高効率!**

50mの地中熱交換器1本で浴室休憩室の冷暖房の運転を実現

※通常、地中熱交換器は100m程度の長さで設置

太陽光発電と地中熱システムのベストミックス

太陽光パネルの発電量と地中熱ヒートポンプの消費電力

48.5kWh

3.3kWh

2.2kWh

2021/6/11（晴れ） 同6/4（雨） 同8/21（晴れ）

最高31.5℃ 最高21.5℃ 最高35.9℃

最低18.4℃ 最低19.2℃ 最低24.1℃

南の日でも太陽光発電により地中熱ヒートポンプを稼働可能!

太陽光発電&地中熱を適正に組み合わせた空調システムを開発するための基礎データを収集しています

太陽光パネルの発電量と地中熱ヒートポンプの消費電力をモニタリング

<喜久田公民館のHP/PV設置条件と利用条件>

太陽光パネルの一日の発電量(kWh) > ヒートポンプの一日の消費電力(kWh)

PVと地中熱システムの適正な組み合わせにより再エネ熱利用が可能に

ゼロエミッション再エネ熱利用を郡山から世界へ!!

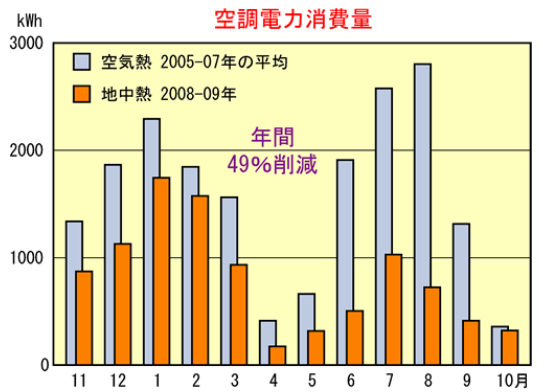
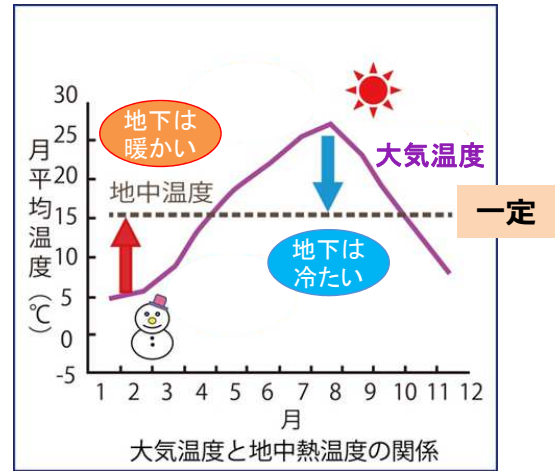
（出典：産総研福島再生可能エネルギー研究所）

喜久田公民館（福島県郡山市）に 地中熱ヒートポンプシステムを導入しました！

地中熱ヒートポンプシステムって何！？

地下100m程度までの深さに存在する**地中熱**は、世界中のどこでも使える**再生可能エネルギー**です。15m程度より深くなると、地下の温度は季節変化が無く年間ではほぼ一定です。喜久田公民館の地下50mまでの温度は15℃で安定しています。地上は夏には30℃、冬には0℃前後になるので、地中と地上で温度差が生まれます。井戸の水が夏には冷たく、冬には温かく感じるのはこのためです。

地中と地上の温度差を上手に利用して冷暖房や融雪を行う方法を、**地中熱利用システム**といいます。最も一般的なものは、ヒートポンプ（エアコンの室外機）を組み合わせた**地中熱ヒートポンプシステム**です。



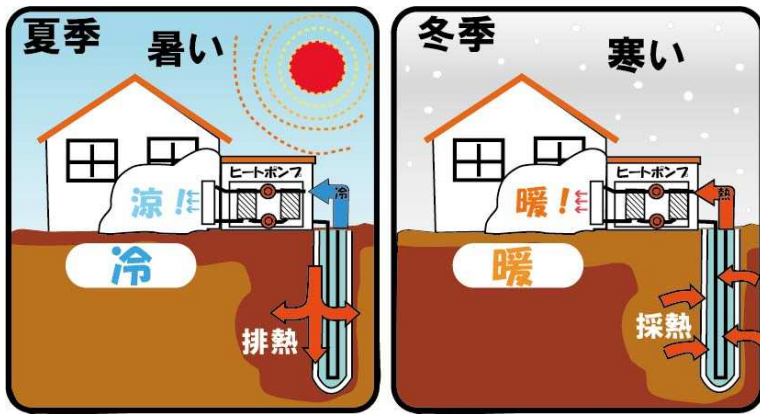
地中熱ヒートポンプシステムの省エネ効果

・東京都心のオフィスビルの電力消費量
→年間で約50%の削減
(NPO法人地中熱利用促進協会HPより)

詳しくは地中熱利用促進協会のパンフレットをご覧ください

通常のエアコンと比較して、電力量を30%~50%削減

二酸化炭素の排出量も大幅に削減(最大約50%)



冷房運転：室内から地中へ排熱

暖房運転：地中から室内へ採熱

地中熱ヒートポンプシステムの設備

U字型のポリエチレンパイプ（長さ50m）が埋まっています。水や不凍液がパイプの中を循環して、夏は地下へ放熱し、冬は地下から採熱します。



地中熱交換器



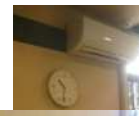
浴室の壁

配管



浴室の壁

配管



吹出口



ヒートポンプ

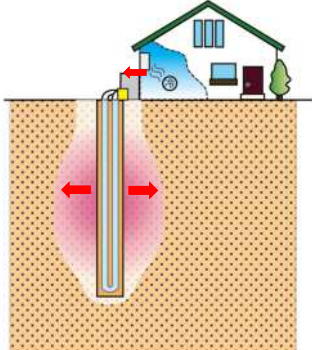
※エアコン室外機と違い、ファンが無い代わりに地中への配管が付いています。音が静かなので、屋内に置くことができます。



太陽光発電+地中熱システムのコラボレーション

喜久田公民館付近の水文地質的特徴

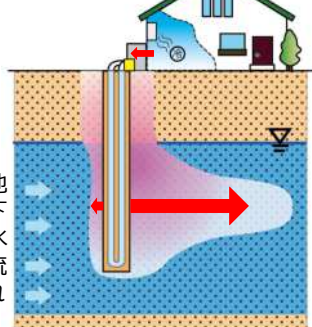
地下水が流れていない



冷房による排熱が熱交換器周りに蓄積（熱交換効率が低下）

地下水が活発に流れている

※喜久田公民館



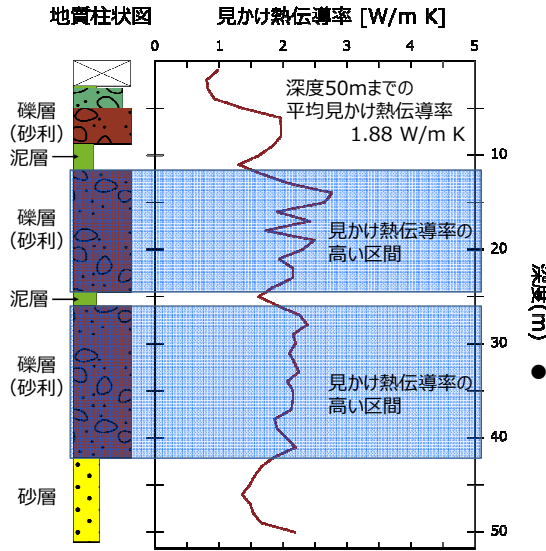
地下水流れ

熱が地下水で移動するため、熱交換器周りに熱が溜まらない

喜久田公民館で実施したケーブル方式熱応答試験の結果

(産総研シーズ事業で開発)

深度別に推定した見かけ熱伝導率



ケーブル方式熱応答試験の様子



試験手順

- ①ケーブルヒーターで孔内を加熱
- ②加熱時とその後の自然温度までの温度回復過程を多点温度センサーで測定
- ③得られたデータを解析して、見かけ熱伝導率を推定

- H31年2月に喜久田公民館でケーブル方式熱応答試験を実施（H30年度産総研シーズ事業）
 - 深度50mまでの平均見かけ熱伝導率1.88W/mK
 - ※全国平均（1.2~1.4程度）よりも高い
 - 深度別の見かけ熱伝導率を見ると（左図）、礫（れき）層の区間で高い傾向にある
 - ※礫層で地下水が活発に流れている可能性大

喜久田公民館の地中熱利用システムの特徴 非常に高効率!

50mの地中熱交換器1本で浴室休憩室の冷暖房の運転を実現

※通常、地中熱交換器は100m程度の長さで設置

太陽光発電と地中熱システムのベストミックス



太陽光発電&地中熱を適正に組み合わせた空調システムを開発するための基礎データを収集しています

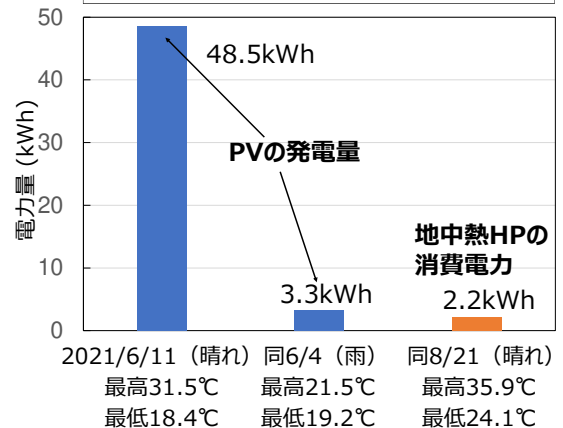
太陽光パネルの発電量と地中熱ヒートポンプの消費電力をモニタリング

<喜久田公民館のHP/PV設置条件と利用条件>

太陽光パネルの一日の発電量(kWh)

> ヒートポンプの一日の消費電力(kWh)

太陽光パネルの発電量と地中熱ヒートポンプの消費電力



雨の日でも太陽光発電により地中熱ヒートポンプを稼働可能!

PVと地中熱システムの適正な組み合わせにより再エネ熱利用が可能に

ゼロエミッション再エネ熱利用を郡山から世界へ!!

逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会を設立



2022年10月 月例市長記者会見
資料5 建設交通部河川課

設立の目的

令和元年東日本台風をはじめ、近年の気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、逢瀬川及び谷田川流域における「流域治水」の推進を目的に、昨年11月に施行された「特定都市河川浸水被害対策法」に基づく特定都市河川の指定を含めた流域水害対策について検討するため、学識経験者及び関係機関の担当課長等による検討会を設立するものである。

検討会の概要

開催日 第1回検討会 2022年10月17日(月) 14:00~16:00
場 所 郡山市上下水道局 5階大会議室
出席者 学識経験者、国・県・市町村担当課長 27名(詳細は右の出席者名簿のとおり)
会議の内容

- ①逢瀬川・谷田川流域における治水対策の方向性について
 - ・逢瀬川・谷田川流域の概要、地形的特性、これまでの洪水被害等について(県)
 - ・逢瀬川・谷田川流域及び接続する阿武隈川において行ってきた治水対策について(国、県、郡山市)
- ②「流域治水」の実効性を高める「流域治水関連法」の改正概要等について(国)

会議の結果

逢瀬川・谷田川流域の実効性のある「流域治水」を推進するために、本検討会において、「特定都市河川」の指定を含めた流域水害対策を検討していくこととした。

※会議資料は、福島県土木部土木企画課ホームページに掲載。

本市の対応

逢瀬川及び谷田川が指定された場合、本市で実施することになる主な業務。

- ①「雨水浸透阻害行為」の許可事務
 - 1000㎡以上の造成工事等への雨水貯留施設の設置義務。
- ②「流域水害対策計画」掲載事業の実施
 - 公園、学校への雨水貯留施設の整備、下水道施設(雨水管、貯留施設)の整備等
- ③「保全調整池」「貯留機能保全区域」の指定及び届出事務
 - 民間の調整池及び保全区域を指定し、形状変更等を届出制とする。

○出席者名簿

【学識経験者】		
日本大学工学部	准教授	朝岡 良浩(委員長)
福島大学共生システム理工学類	教授	川越 清樹(WEB 参加)
福島大学共生システム理工学類	教授	川崎 興太(WEB 参加)
【国】		
東北地方整備局河川部地域河川課	課長	福田 修
福島河川国道事務所 調査第一課	課長	松葉 俊哉
【福島県】		
企画技術総室	部参事	山田 毅
土木企画課	課長	芳賀 英幸
河川計画課	課長	中川 善則
河川整備課	課長	杉原 雅人
都市計画課	課長	玉川 善徳
下水道課	課長	手塚 孝良
建築指導課	課長	星 剛
農村計画課	課長	廣田 雅幸
農村振興課	課長	小久保 和秀
県中建設事務所 企画管理部	主幹兼企画管理部長	旗野 直広
県中建設事務所 河川砂防課	課長	新明 淳
県中建設事務所 農村整備部	副部長	氏家 武善
【郡山市】		
防災危機管理課	総務部次長兼防災危機管理課長	市川 修
農地課	課長	我妻 康一
河川課	建設交通部次長兼河川課長	池田 剛
都市政策課	都市整備部参事兼都市政策課長	吉澤 信之
経営管理課	上下水道局次長兼経営管理課長	佐久間 健一
下水道整備課	課長	武藤 茂雄
下水道保全課	課長	三瓶 浩
【須賀川市】		
道路河川課	課長	伊勢 善宏
農政課	課長	安田 徹
【平田村】		
産業建設課	課長	大方 憲一

新型コロナウイルスワクチンの接種【乳幼児】

◆ 乳幼児へのワクチン接種の開始

対象者

生後6か月～4歳の方（約10,500人）

（左記内訳）

4歳	(H29.11.1～H30.10.31生)	約2,500人
3歳	(H30.11.1～R1.10.31生)	約2,400人
2歳	(R1.11.1～R2.10.31生)	約2,300人
1歳	(R2.11.1～R3.10.31生)	約2,300人
6か月～11か月	(R3.11.1～R4.4.30生)	約1,000人
		約10,500人

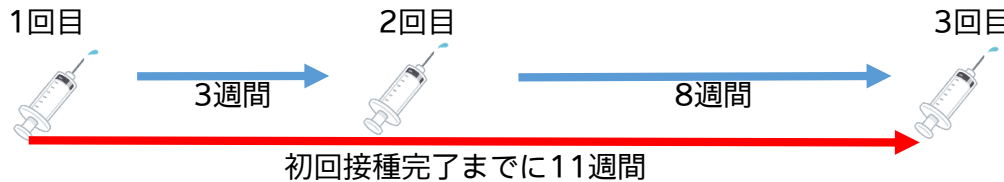
接種ワクチン

ファイザー社ワクチン（6か月～4歳用）

接種回数

規定の間隔を空けて3回

3回接種のモデルパターン



接種場所

市内の16医療機関（別紙参照）

接種開始時期

令和4年11月初旬から開始予定

【参考】既存ファイザー社ワクチン（5～11歳用）との比較

製剤名	コミナティ筋注 6か月～4歳用	コミナティ筋注 5～11歳用
バイアルのキャップの色	(栗色)	(オレンジ)
初回免疫の接種回数	3回	2回
接種対象	初回免疫（1～3回目）	初回免疫（1、2回目） 追加免疫（3回目）
希釈時の生理食塩液の量	2.2mL	1.3mL
接種部位	三角筋中央部又は大腿前外側部 ※1歳未満は大腿前外側部	三角筋中央部

(別紙)乳幼児接種を実施する医療機関一覧

安積町	かわなこどもクリニック	富久山町	いいもり子ども医院
大槻町	チルドレンクリニック	緑ヶ丘東	緑ヶ丘こどもクリニック
賀庄	おおのこどもクリニック	向河原	星総合病院
片平	おおがクリニック	本町	菊池医院
御前南	わんぱくさいとうこども医院	本町	すみこしこどもクリニック
島	久米こどもクリニック	八山田	むかわクリニック
富田町	さかい小児科クリニック	山崎	じんキッズクリニック
虎丸	ユア・クリニックたかはし	山崎	トータルヘルスクリニック

新型コロナウイルスワクチンの接種【5回目接種】

◆ 5回目接種用の接種券送付について

対象者

オミクロン株対応ワクチンを接種していない4回目接種完了者（約79,000人）

接種券送付日

令和4年10月31日（月）から

日程	件数	備考
10月31日（月）	約12,000件	4回目接種が5/29～7/31
11月7日（月）	約35,000件	4回目接種が8/1～8/31
11月14日（月）	約32,000件	4回目接種が9/1～9/30

接種ワクチン

オミクロン株対応ワクチン（BA.1型またはBA.4/5型）

- ・ファイザー社ワクチン（12歳以上）
- ・モデルナ社ワクチン（18歳以上）

オミクロン株対応ワクチンの効果

新型コロナウイルスのオミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る**重症化予防効果**とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果**や**発症予防効果**も期待されています。

接種場所

- ・集団接種会場（八山田・向河原）【モデルナ社ワクチン使用】
- ・市内の接種実施医療機関【ファイザー社ワクチン使用】

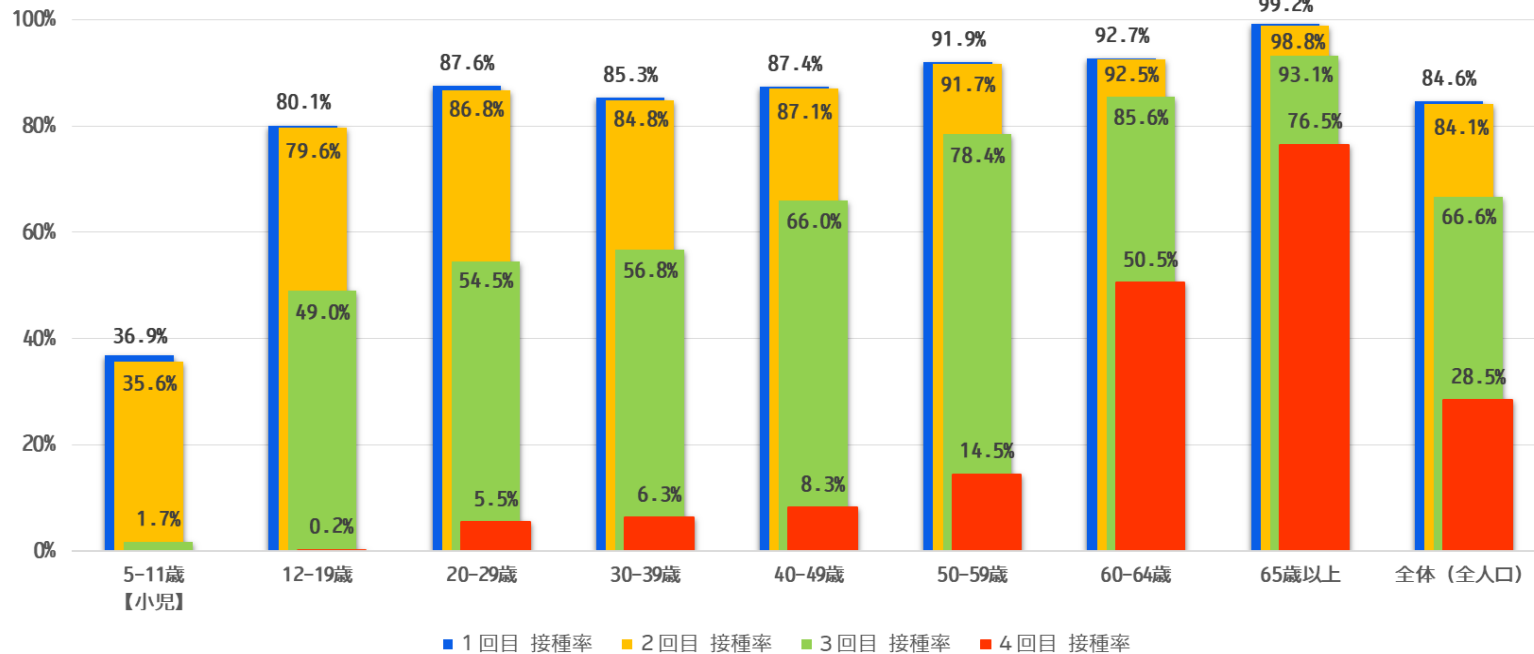
※**集団接種会場**で前回接種をした65歳以上の方には、**あらかじめ接種日時を指定する。**

年代別ワクチン接種状況

10/20 現在

区分	対象者数	1回目		2回目		3回目		4回目	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
5-11歳【小児】	18,867人	6,953回	36.9%	6,719回	35.6%	329回	1.7%		
12-19歳	23,620人	18,919回	80.1%	18,800回	79.6%	11,562回	49.0%	57回	0.2%
20-29歳	31,619人	27,693回	87.6%	27,432回	86.8%	17,226回	54.5%	1,748回	5.5%
30-39歳	37,608人	32,084回	85.3%	31,873回	84.8%	21,353回	56.8%	2,365回	6.3%
40-49歳	45,721人	39,961回	87.4%	39,804回	87.1%	30,195回	66.0%	3,783回	8.3%
50-59歳	42,538人	39,100回	91.9%	38,992回	91.7%	33,371回	78.4%	6,162回	14.5%
60-64歳	21,259人	19,710回	92.7%	19,657回	92.5%	18,191回	85.6%	10,742回	50.5%
65歳以上	86,569人	85,907回	99.2%	85,516回	98.8%	80,637回	93.1%	66,198回	76.5%
全体（全人口）	319,702人	270,327回	84.6%	268,793回	84.1%	212,864回	66.6%	91,055回	28.5%

年代別接種率



※全体接種率については、市の全人口（R4.1.1現在）をベースに算出しています。

【参考】国・都道府県の接種状況

◆ 首相官邸ホームページ
『新型コロナワクチンについて』
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>



(QRコード)

オミクロン株対応ワクチン接種状況

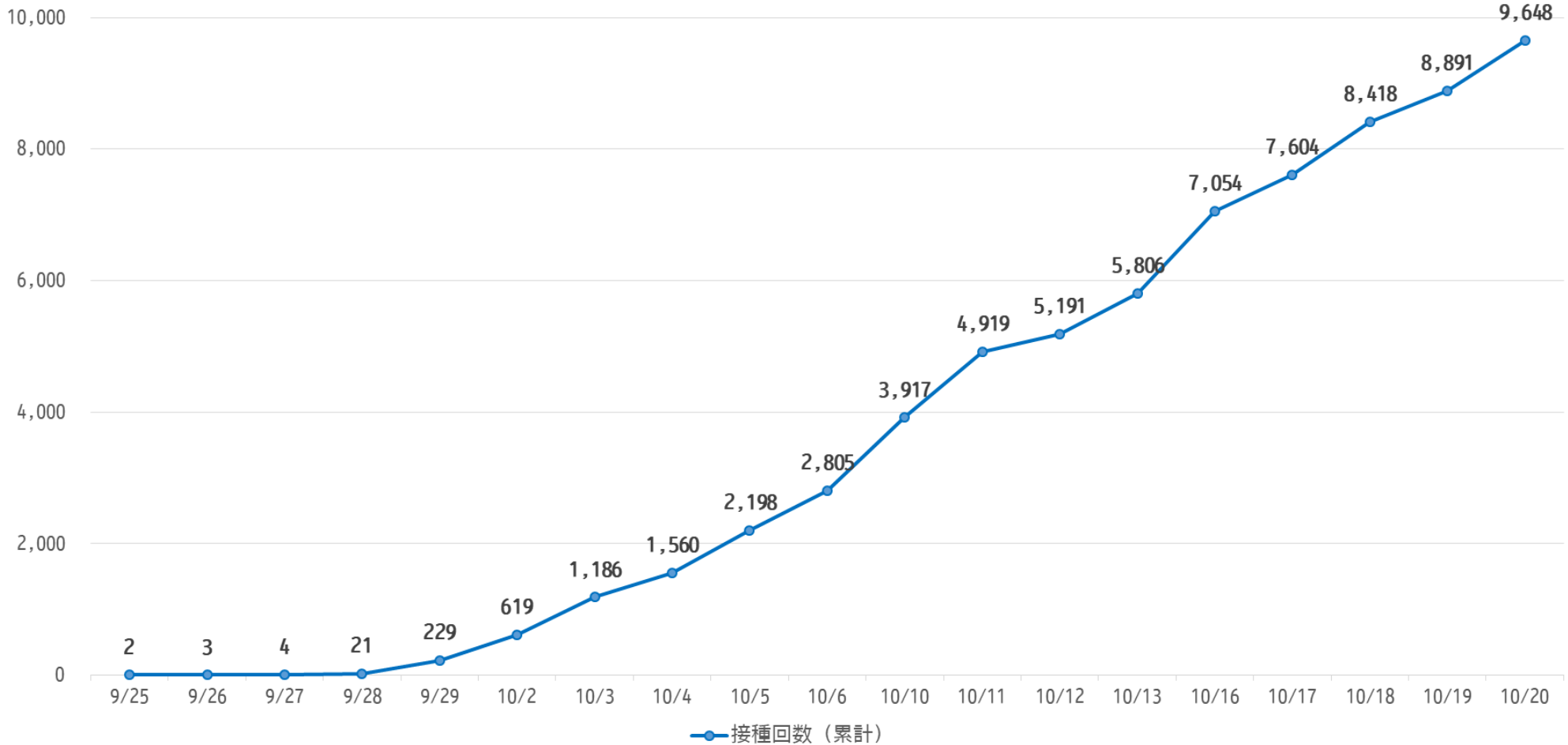
10/20 現在

<オミクロン株対応ワクチン接種の対象者>
初回接種（1回目・2回目接種）を完了した12歳以上の方

全人口(R4.1.1現在) : 319,702人
接種回数 : 9,648回

接種率3.0%

オミクロン株対応ワクチン接種回数（累計）



2022上半期歳出予算執行及び建設工事契約状況 [一般会計]

2022年10月 月例市長記者会見
配付資料2 財務部財政課・契約課

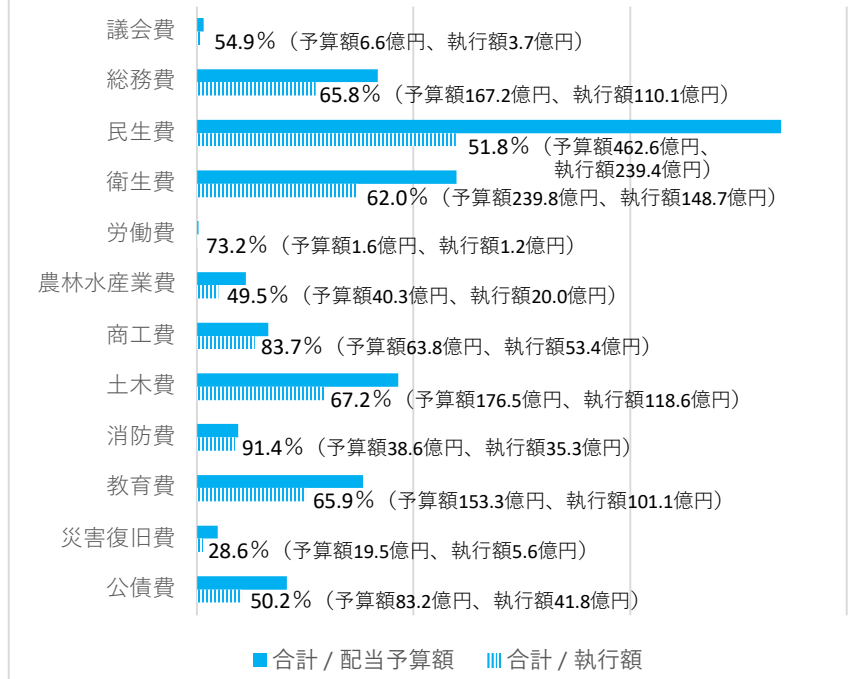
一般会計歳出予算の執行状況 (各年度9.30時点)

	2022 (R4).9.30	参考：2021 (R3).9.30
予算現額	1,453億2,629万円	1,434億4,140万円
執行済額	878億6,972万円	859億3,101万円
執行率	60.5%	59.9%

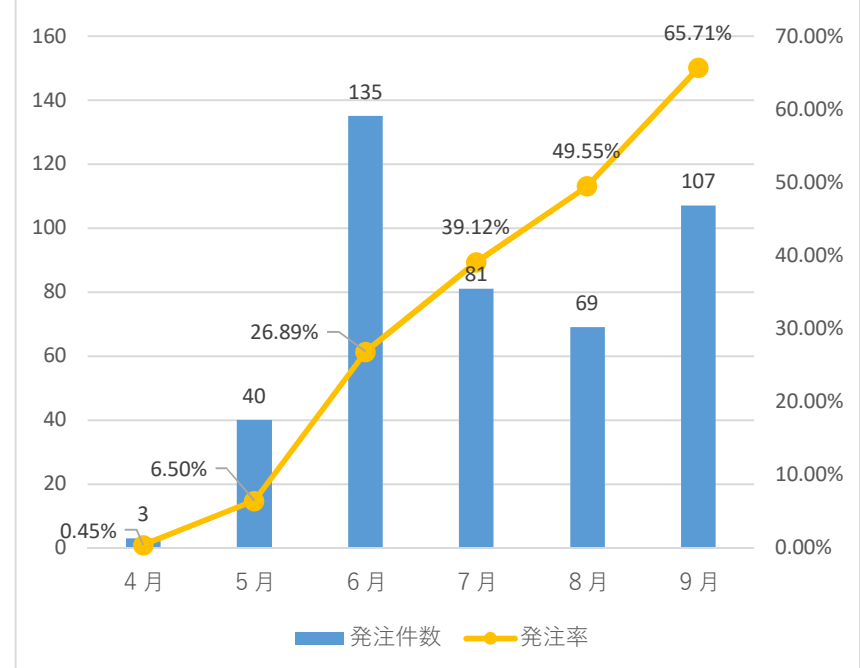
建設工事契約実績 (各年度9.30時点)

	2022 (R4).9.30	参考：2021 (R3).9.30
発注件数	435件	362件
今後見込件数	227件	
発注率	65.7%	60.5%

目的別執行状況 [2022.4.1~9.30]



建設工事発注状況 [2022.4.1~9.30]



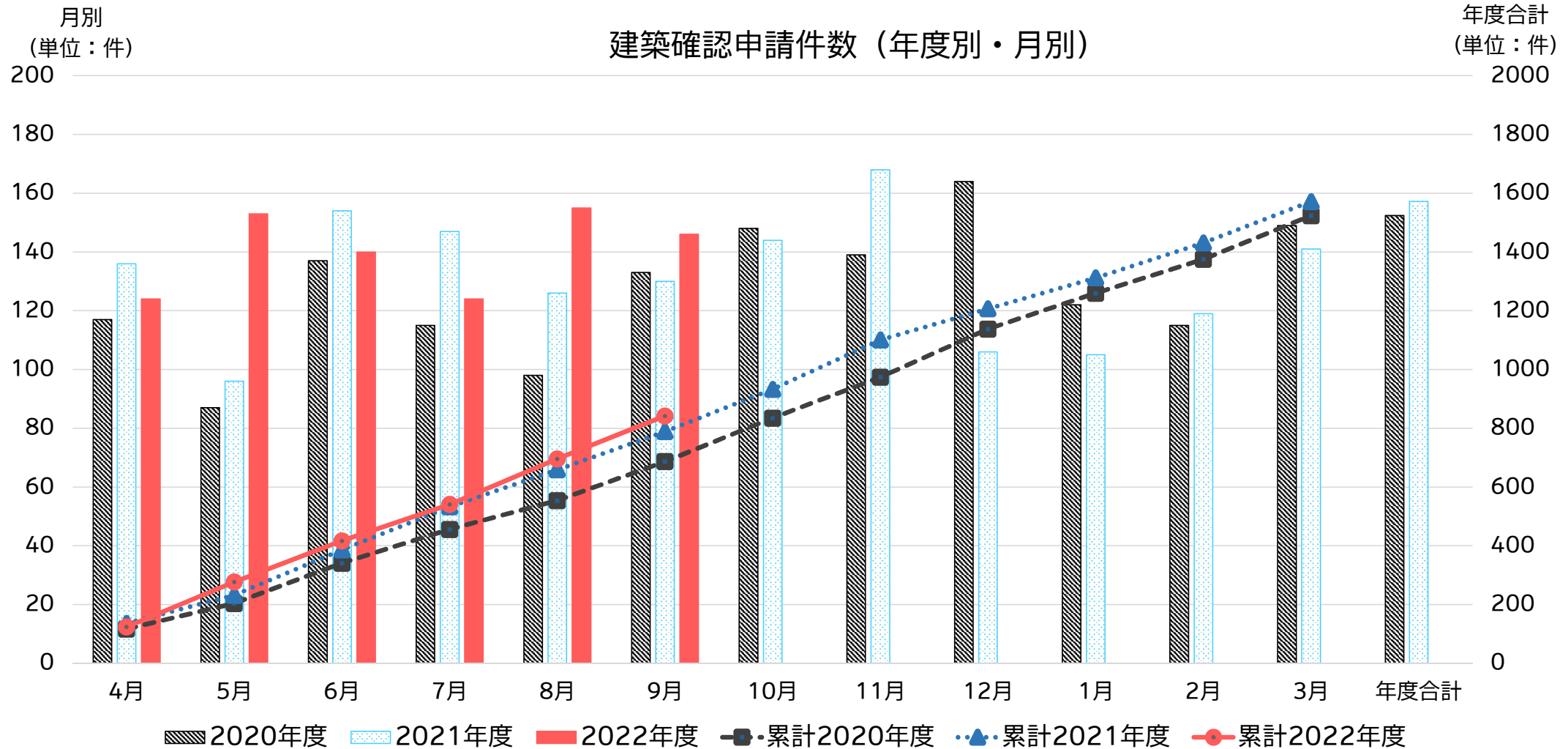
※予算額は、令和4年9月30日時点で当初予算額、繰越予算額、補正予算額を合算した金額。

※災害補償費、恩給及び退職年金、繰出金は、執行目的や執行時期等が限定されるため、予備費は執行率算定になじまないため除いている。

建築確認申請件数



2022年10月 月例記者会見
配布資料3 都市整備部開発建築指導課



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	4月～9月	
														合計	前年度比
2022年度	124	153	140	124	155	146	-	-	-	-	-	-	842	842	53
2021年度	136	96	154	147	126	130	144	168	106	105	119	141	1,572	789	102
2020年度	117	87	137	115	98	133	148	139	164	122	115	149	1,524	687	-

(単位：件)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)との包括連携協定に基づき、テレマティクス技術を活用した「エコドライブ・交通安全コンテスト」(県内初)を実施します。

1.テレマティクスとは

「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語
GPS機能搭載の車載器とスマートフォン等の通信システムを連動させることで
様々な情報やサービスを提供する仕組み



2.コンテストの概要

■実施期間

12月1日(木)～12月31日(土)

■対象者

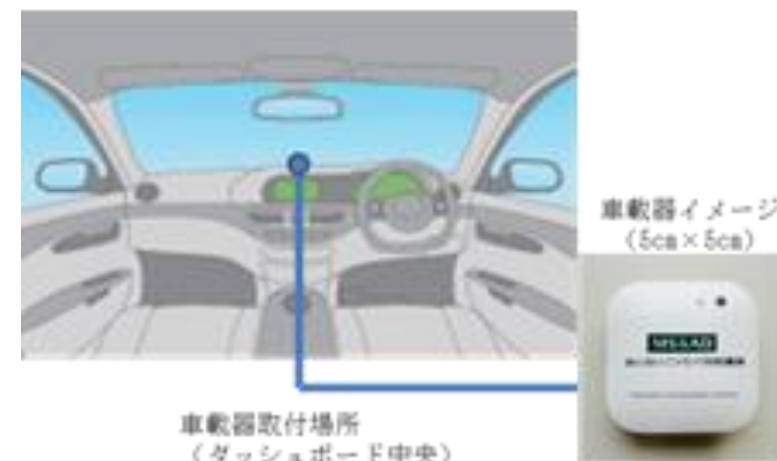
1チーム5～10名の法人・団体グループ

■定員 1,000名(参加費は無料)

■エントリー条件

- ①郡山市に所在する法人・団体(5～10名のチームによる参加)
- ②自動車免許所有およびスマートフォンを持っている方
- ③イベントで使用する四輪車両を運転できる方(個人・法人所有不問)

■参加申込方法(申込締切日10月31日)



車載器は申込受付後に貸し出します。

【参加申込方法について】Webによるお申込みをお願いします

①下記URLまたは右記二次元バーコードから申込フォームへアクセス下さい

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=phne-lhqetj-7f1acea641ad3fc13b80b04849746ab9>

②必要事項に入力していただきましたら【送信】を押してください

*「申込コード欄」へは「RBL61」とご入力下さい

※申し込みに際しまして、チーム代表の方のお名前・ご連絡先。参加者の方のお名前(必須)・メールアドレス(任意)などご入力をお願いいたします。

申込締切日
2022年10月31日(月)



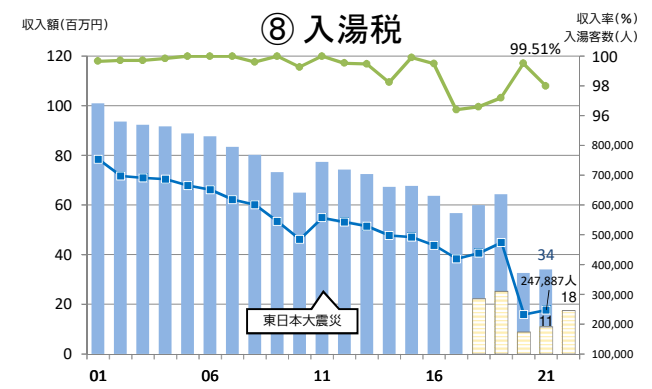
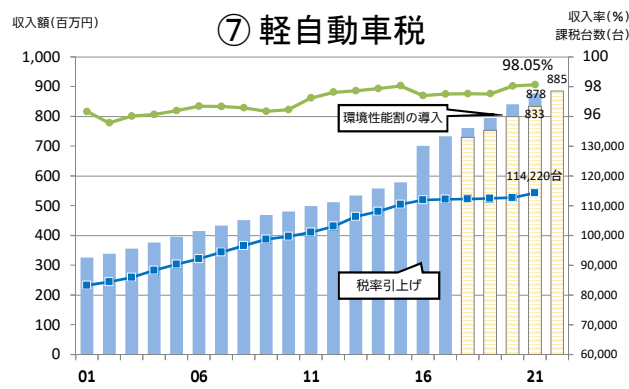
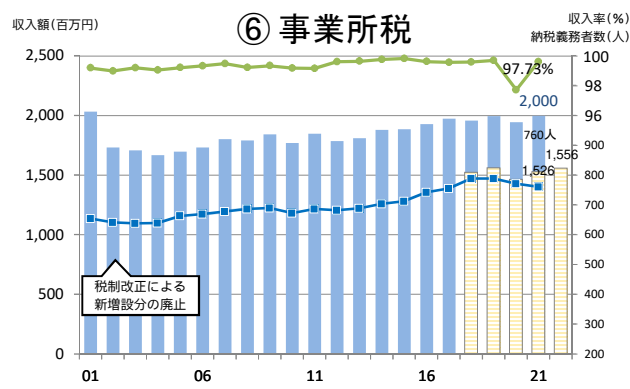
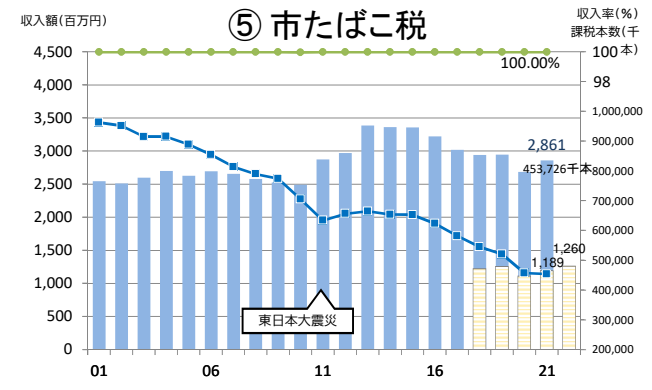
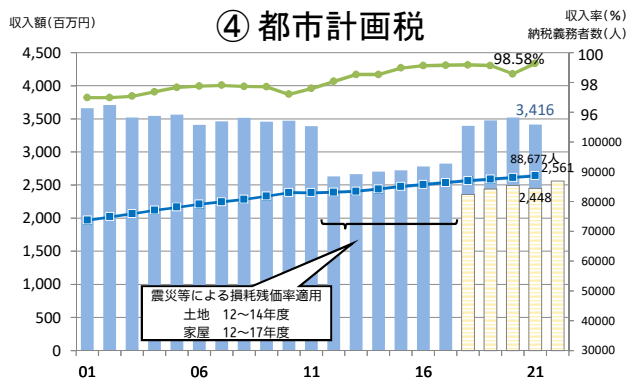
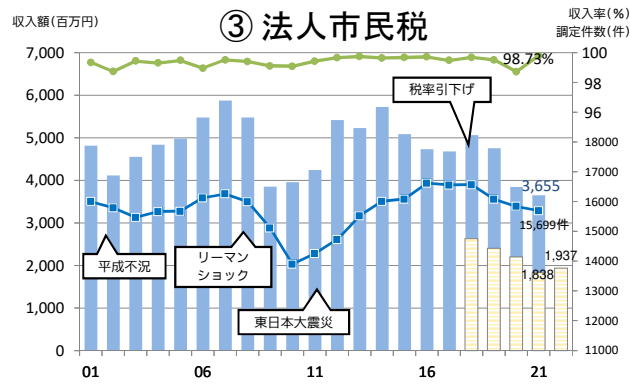
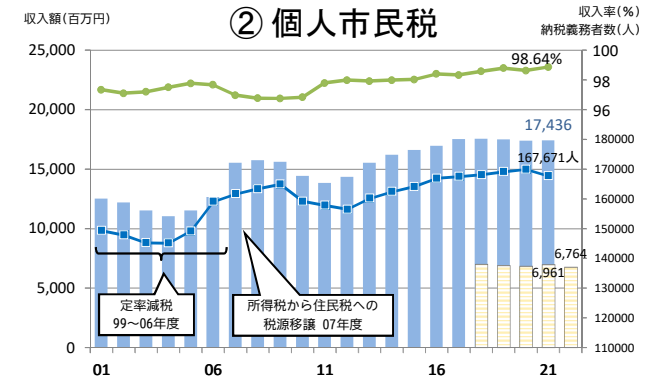
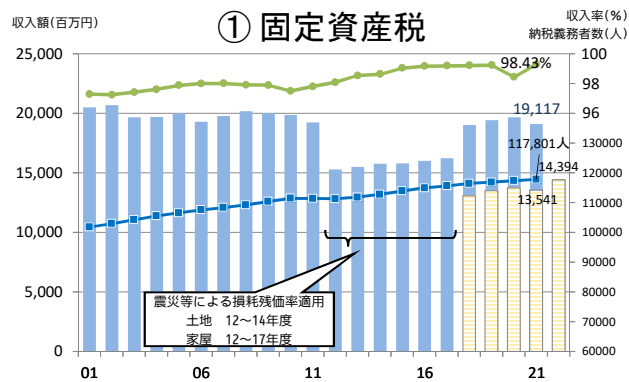
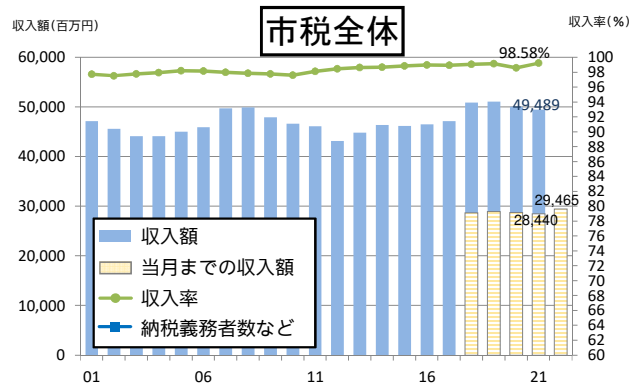
急ブレーキ、急加速、速度超過など期間中の運転を採点しランキングで振り返る。

■主催 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

■共催 郡山市、日本生命保険相互会社

年度別市税収入の推移（現年課税分）

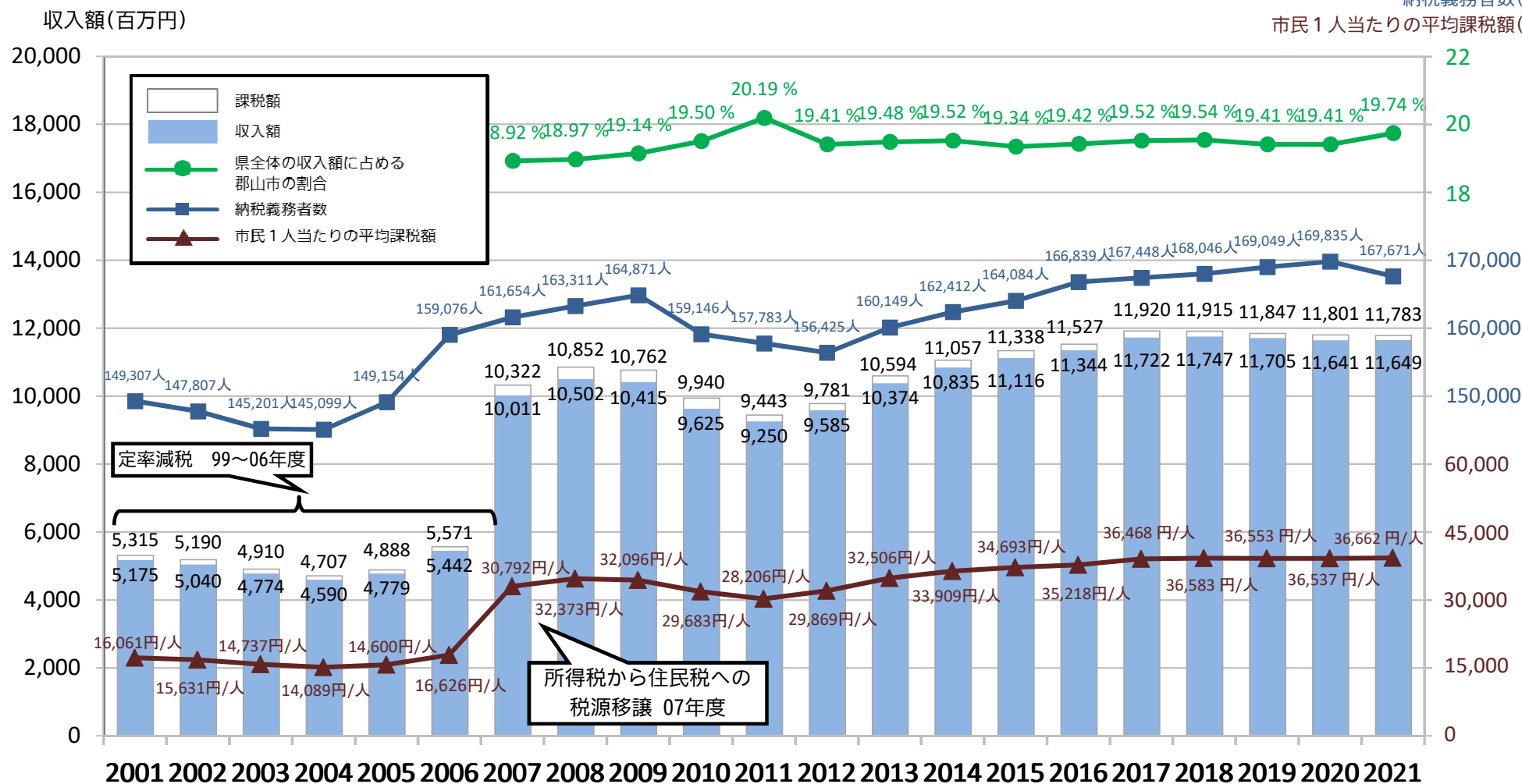
税務部収納課
2022年8月31日現在



※ 一部税目の省略及び端数処理のため、グラフに表示している各税目の数値の計と市税全体の数値は一致しません。

個人県民税 (郡山市・現年課税分)

県全体の収入額に占める郡山市の割合(%)
納税義務者数(人)
市民1人当たりの平均課税額(円)



※ 個人県民税の課税額・収入額は県内市町村で1位 (2007~2020年度)

※特別徴収分 (3月特別徴収分) は含まれていない。